

ACI VMM統合でのアクティブ – アクティブ NICチーミングのトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ACIを使用したVMM統合のアクティブ – アクティブ設定に関する問題を特定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- リンクアグリゲーションコントロールプロトコル(LACP)
- 仮想マシンモニタ(VMM)
- ネットワークインターフェイス制御(NIC)
- アプリケーションセントリックインフラストラクチャ(ACI)

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

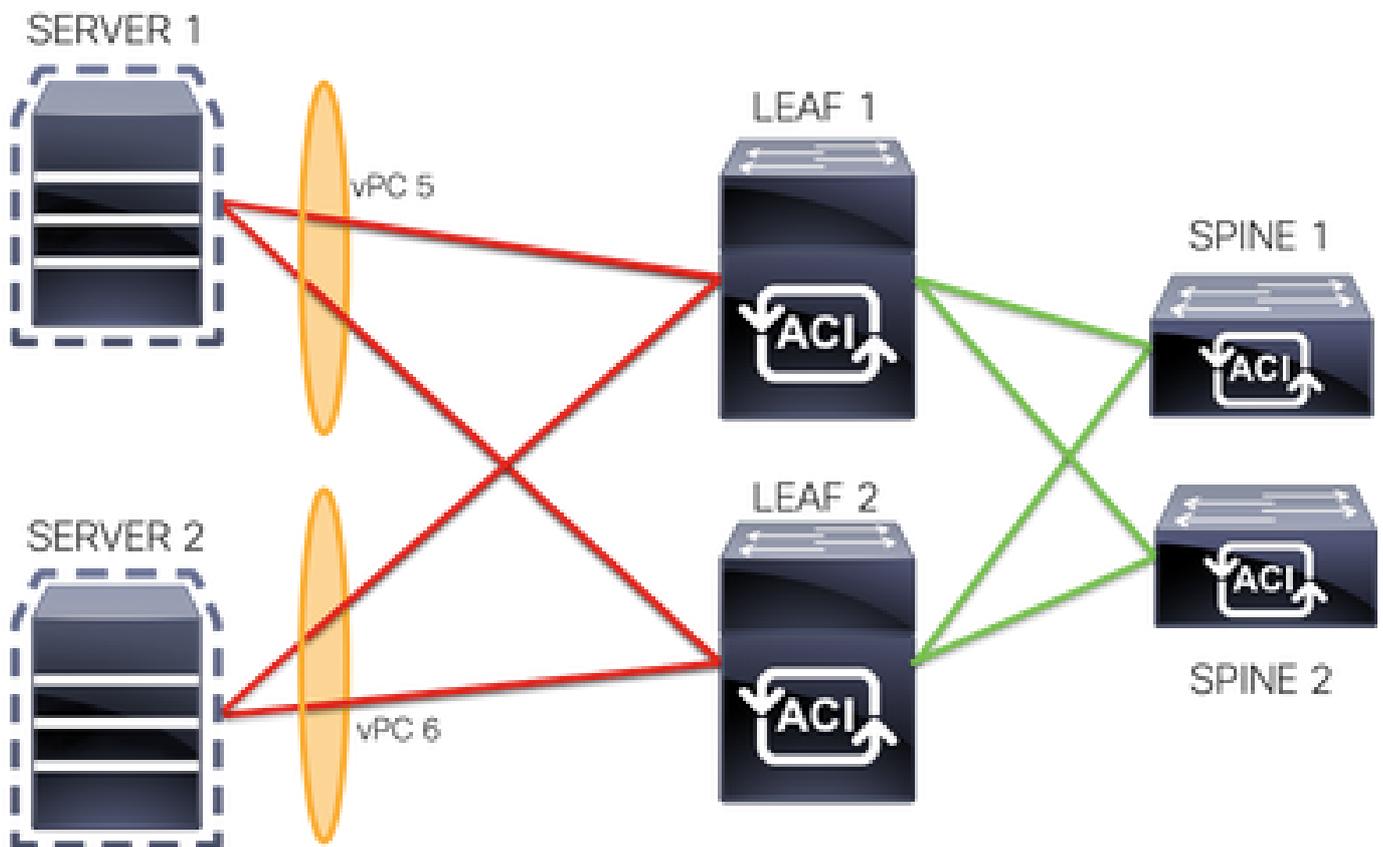
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

設定

ネットワークは、2台のサーバで許可されるVM構成にアクティブ-アクティブLACP負荷ベースチーミングNICを設定し、VMM統合の2つの異なるリーフスイッチのACIに接続しています。

ネットワーク図

次の図は、設計を説明するための高レベルのリファレンスです。



vPC 5メンバは、リーフ1のインターフェイスEth 1/1とリーフ2のインターフェイスEth 1/2です。

vPC 6メンバは、リーフ1のインターフェイスEth 1/3とリーフ2のインターフェイスEth 1/4です。

VM IP:10.10.10.1

VM MAC:AA.AA.AA.AA.AA.AA

Connections:

サーバ1 NIC 1 <->リーフ1 Eth 1/1

サーバ1 NIC 2 <->リーフ2 Eth 1/2

サーバ2 NIC 1 <->リーフ1 Eth 1/3

サーバ2 NIC 2 <->リーフ2 Eth 1/4

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

[Cisco CLI アナライザ \(登録ユーザ専用\)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。show コマンド出力の分析を表示するには、Cisco CLI アナライザを使用します。

トラブルシューティング

このセクションでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報を説明します。

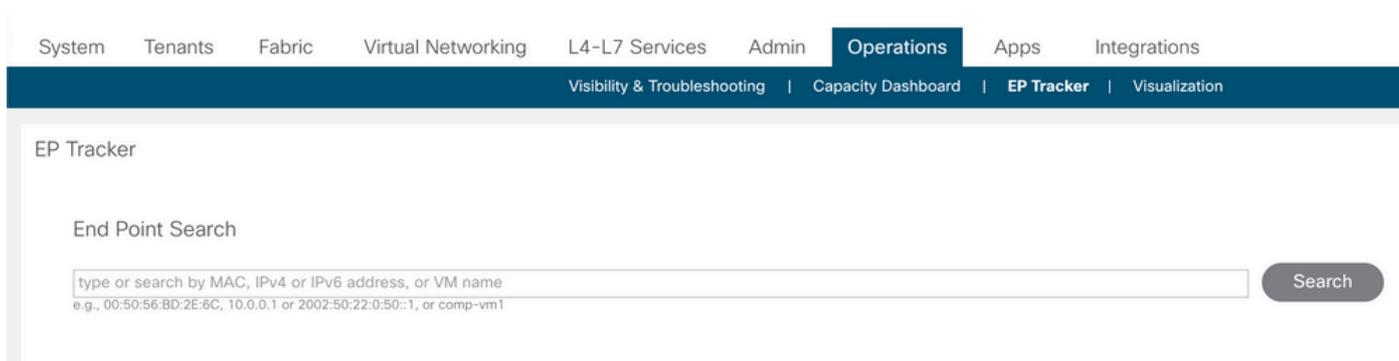
APIC GUIでEndpoint Tracker(EP)トラッカーに移動してサーバのIPを追跡し、attach/detachログを確認してフラップを特定します。

ステップ 1 : Cisco APIC GUIへのログイン

ステップ 2 : Operations -> EP Trackerの順に移動します。

ステップ 3 : End Point Search領域に、IPアドレスを入力します

ステップ 4 : Search をクリックする。



フラップが特定されたら、次のステップとして各リーフスイッチでコマンドを実行します。

```
<#root>
```

```
LEAF1#
```

```
show endpoint ip 10.10.10.1
```

```
Legend:
```

```
S - static          s - arp          L - local        O - peer-attached
V - vpc-attached   a - local-aged  p - peer-aged    M - span
B - bounce         H - vtep        R - peer-attached-r1 D - bounce-to-proxy
E - shared-service m - svc-mgr
```

```
+-----+-----+-----+-----+-----+
| VLAN/ | Encap | MAC Address | MAC Info/ | Interface |
| Domain | VLAN  | IP Address  | IP Info   |            |
+-----+-----+-----+-----+-----+
2                vlan-100
aaaa.aaaa.aaaa
LV                po6
common:common-VRF          vlan-100
```

10.10.10.1

LV po6

<#root>

LEAF2#

show endpoint ip 10.10.10.1

Legend:

S - static s - arp L - local O - peer-attached
 V - vpc-attached a - local-aged p - peer-aged M - span
 B - bounce H - vtep R - peer-attached-r1 D - bounce-to-proxy
 E - shared-service m - svc-mgr

VLAN/ Domain	Encap VLAN	MAC Address IP Address	MAC Info/ IP Info	Interface
1	vlan-100			
aaaa.aaaa.aaaa				
LV common:common-VRF	po6 vlan-100			

10.10.10.1

LV po6

<#root>

LEAF1#

show port-channel summary

Flags: D - Down P - Up in port-channel (members)
 I - Individual H - Hot-standby (LACP only)
 s - Suspended r - Module-removed
 b - BFD Session Wait
 S - Switched R - Routed
 U - Up (port-channel)
 M - Not in use. Min-links not met
 F - Configuration failed

Group	Port-Channel	Type	Protocol	Member Ports
5	Po5(SU)	Eth	LACP	Eth1/1(P)
6	Po6(SU)	Eth	LACP	Eth1/3(P)

<#root>

LEAF2#

show port-channel summary

Flags: D - Down P - Up in port-channel (members)

動作するため、シスコではこの種の導入を推奨していません。

同様のトポロジが必要な場合は、LACPやスタティックポートチャネルなどのLink Aggregation Group(LAG)を使用することを推奨します。

[Cisco CLI アナライザ \(登録ユーザ専用\)](#) は、特定の show コマンドをサポートします。show コマンド出力の分析を表示するには、Cisco CLI アナライザを使用します。

[debug](#) コマンドを使用する前に、『[debug コマンドの重要な情報](#)』を参照してください。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。